目標に向かって、日々練習を重ねる…
北海道福島商業高等学校　ワープロ部

今回は、北海道福島商業高等学校のワープロ部を代表して、部長の白川　人和さん（写真右から２人目）を取材しました。ワープロ部は現在２年生５名で活動しており、年に３回行われる大会に向け、日々練習を重ねています。

６月７日（木）から８日（金）までの２日間行われた『第63回北海道高等学校ワープロ競技大会兼第65回全国高等学校ワープロ競技大会北海道予選』で団体競技で３位、個人速度競技で部員の星野　一輝さん（写真中央）が３位の好成績を収め、11月４日（日）に行われた『平成30年度北海道高等学校商業実務競技新人大会』のワープロ部門でも、団体競技で第２位、個人速度競技で星野さんが第２位に入賞しました。強豪校にも負けず、大きな快挙を成し遂げました。

問1．入部しようと思ったきっかけは何ですか？

入学時から進路を考える上で「たくさんの商業関係の検定で合格したい」と考えており、その中でも特に、決められた文字数のタイピングやビジネス文書を作成する「ビジネス文書実務検定1級」に合格したいと考えていました。

そのような中で、ワープロ部の先輩方の成績を聞いて、「部活動を通じて速いタイピングを身に付け、自分の力を高めたい」と感じ、入部することを決めました。

▲これまで入賞した賞状の数々

問2．現在の主な活動内容を教えてください！

平日の放課後と土曜日に活動しています。

練習ソフトでタッチタイピングの練習をした後、10分間のタイマーをセットし、時間内で練習問題を何文字タイピングできるか測定します。練習問題は強豪校を始め、全国大会の過去問題などを使っています。測定は平日5回、土曜日7回を目安に行います。

また、年に3回行われる大会にも参加しています。6月に行われる大会の優勝校は全国大会に出場できるため、特に力を入れて練習しています。

▲部室に並ぶ20冊以上の練習問題集